

2023年度 全国科学館連携協議会 東海ブロック会議 報告書

2024年3月15日

名古屋市科学館
学芸課学芸係 学芸員 山田 厚輔

以下のように東海ブロック会議を開催しましたので報告します。

記

- 1 日時 2024年3月8日（金）～9日（土）
- 2 会場 岐阜県先端科学技術体験センター サイエンスワールド
- 3 テーマ 「来館者向けワークショップ・サイエンスショーを活用した実演型研修」
来館者を対象とするワークショップ（以下、WS）イベントを活用した実演型の研修会を行う。研修会参加施設より募集した2つのWSテーマを研修し来館者へ披露する。またサイエンスショーについては来館者への演示を見学する。
- 4 プログラム 資料（1）参照
- 5 参加者 資料（2）参照

6 研修会内容

（1）参加者挨拶及び各館情報共有

参加者の業務内容の紹介や本年度各館の来館者数や事業について情報共有を行った。参加者は各館にてワークショップやサイエンスショーなどを担当するスタッフが多く、今回のテーマらしさが伺えた。来館者数はコロナ以前に戻りつつある施設もあればなかなか苦戦している施設もあり、今後の取り組みについて一層の情報共有が重要となると感じた。

（2）WS研修「水とペンの不思議な関係？」富士川楽座 体験館どんぶら

上記施設山田氏より参加者に向けて実験内容と実演の進め方についてレクチャーを行った。実験内容は、ホワイトボードマーカーでアルミ箔に絵を描き、バットに張った水にそっとアルミ箔を潜らせると絵がアルミ箔から剥離し水面に浮かぶという実験と、水性ペンでコーヒーフィルターに線を描き割り箸で挟み、水を入れたプラコップにつけると水を吸い上げ線が様々な色に別れていく実験である。レクチャー後、参加者は様々なペンをテストしてどのような結果になるか実際に実験を行った。

（3）WS研修「ベアリングゴマ」浜松科学館みらい〜ら

上記施設天井氏より参加者に向けて工作内容についてレクチャーを行った。工作内容は、軸（割り箸）と本体（CD）が同時に回らないようベアリングを活用したコマである。ジャイロ効果を利用し、本体を回した後に軸を手や指先でバランスよく安定させて遊ぶことができる。実際の工作は、この後の研修や空き時間に行うこととし、天井氏からはコマを活用したコマ芸（竹串の上で保持する。紐を使って吊るす。など）が紹介された。

(4) サイエンスショー研修「スーパー★マグネット」名古屋市科学館

筆者より参加者に向けてサイエンスショーで行う実験を紹介した。10cm 角のネオジム磁石を使った各種金属のくっつく・くっつかないクイズから、渦電流を利用した金属の動きを紹介し、参加者も体験した。

(5) WS テーマ決め及び研修

2日目の来館者向け実演の各テーマを担当する参加者を挙手にて決定した。「水とペンの不思議な関係？」は4名、「ベアリングゴマ」は6名の参加者がそれぞれ担当することとなり、その後、各テーマに分かれ実験の詳細や実演方法、来館者の体験人数などの運営方法を話し合った。両テーマとも活発な意見交換が行われた。

(6) 情報交換会

会議1日目の終了後、情報交換会を行った。普段の事業での取り組みや悩み、今後の事業計画など活発な意見交換を行った。

(7) 来館者向け実演

WS とサイエンスショーを来館者対象のイベントとして実施した。なお参加者は、各自の空き時間を活用し、もう一方のWS やサイエンスショー、会場館の事業を見学した。

WS「水とペンの不思議な関係？」は10時から12時30分まで行った。土曜日の午前ということもあり客足は緩やかではあったが、来館者はじっくりと実験ができ、講師となる参加者も余裕を持って説明することができた。参加者の集計では21組122名の来館者が参加した。同じくWS「ベアリングゴマ」は13時から15時30分まで行った。午後になり来館者も増えたこともあり非常に盛況だった。工作しコマを完成させた後も、コマ芸を極めようと多くの子どもたちが奮闘していた。

サイエンスショー「スーパー★マグネット」は11時10分と14時10分の2回行った。実演は筆者ではなく当館にて普段から実演を行っている小泉と梶浦が行った。いずれの回も多く来館者が見学し盛況だった。特にアルミ鍋を吊り下げ振り出し、磁石による渦電流によってブレーキをかけ止める実験は大きな歓声が上がっていた。

(8) 評価シート及びアンケート記入

各WS とサイエンスショーについて良かった点や改善点などを評価シートに記入した。このシートは後日参加者に共有し、今後各館にて同様なWS やショーを行う際の判断材料として活用できると考える。

7 アンケート結果

満足度5段階評価では5及び4評価が全てとなり満足度の高さが伺える。今後も同様の内容を望む声や、サイエンスショーや実験教室でも同様に研修から来館者向け実施を望む声もあった。今後も同様なスタイルの会議を開催しつつ、現場ではなく管理運営側の課題を共有し解決策を検討するようなテーマも取り扱い東海ブロック会議を魅力的な会にしていきたいと考える。



WS「水とペン」研修



WS「ベアリングゴマ」研修



WS「水とペン」来館者向け実施



WS「ベアリングゴマ」来館者向け実施



サイエンスショー「スーパー★マグネット」



サイエンスワールドサイエンスショー

以上

2023年度 全国科学館連携協議会 東海ブロック会議
プログラム

1. 開催日 令和6年3月8日（金）～9日（土）
2. 会場 岐阜県先端科学技術体験センター サイエンスワールド
岐阜県瑞浪市明世町戸狩54
3. テーマ 「来館者向けワークショップ・サイエンスショーを活用した実演型研修」
来館者を対象とするワークショップ（以下、WS）イベントを活用した実演型の研修会を行う。研修会参加施設より募集した2つのWSテーマを研修し、来館者へ披露する。またサイエンスショーについては来館者への演示を見学する。
4. 日程
- 3月8日（金）
- 12:50 瑞浪駅乗合タクシー出発（集合：瑞浪駅南側出入口周辺）
- 13:00 受付開始
- 13:30 開会 会場館 館長 三浦秀輝 開会挨拶
幹事館によるテーマ説明
- 13:40 参加者挨拶＋各館状況紹介（1館あたり3～5分程度）
- 14:30 テーマ研修
・WSテーマ施設より内容説明、参加者体験 各テーマ20分程度
・ショー実施施設より内容説明、参加者体験 20分程度
- 15:30 休憩
- 15:40 WSグループ決め、各グループにてWS実演練習・準備
- 16:50 2日目説明
- 17:00 解散 → 乗合タクシー出発（瑞浪駅へ）
- 18:30 情報交換会

3月9日（土）

- 9:00 瑞浪駅乗合タクシー出発（集合：瑞浪駅南側出入口周辺）
- 9:15 集合 → WS準備

	WSテーマ1G	WSテーマ2G	ショー実施G
10:00	来館者向け実演開始 会場：サイエンスラボ1	WSテーマ1、ショー、 施設見学	WSテーマ1、施設見学、 ショー準備

11:10		昼食	ショー実演（名古屋）
12:30	実演終了、昼食	実演準備	昼食
13:00	昼食 WS テーマ 2、ショー、	来館者向け実演開始 会場：サイエンスラボ 2	WS テーマ 2、施設見 学、ショー準備
14:10	施設見学		
15:30	片付け	実演終了→片付け	片付け

15:45 WS・ショー評価票記入、アンケート記入

16:00 順次解散（乗合タクシーご利用の方は以下参照、あくまで予定）

16:20 出発 → 16:30 瑞浪駅着（→ 16:47 快速名古屋行 乗車）

16:50 出発 → 17:00 瑞浪駅着（→ 17:20 快速名古屋行 乗車）

16:10 希望者のみ：サイエンスショー「液体窒素」（会場館演示）見学

17:20 出発 → 17:30 瑞浪駅着（→ 17:46 快速名古屋行 乗車）

5. WS について

テーマ1 「水とペンの不思議な関係？」 富士川楽座 体験館どんぶら

テーマ2 「ベアリングゴマ」 浜松科学館みらい〜ら

研修会参加者全員が2日目に来館者へWSの実演を行います。上記2つのテーマを1日目に体験し、どちらのテーマを2日目に実施するか希望を取りグループ分けを行います。その後グループ内にて研修・準備を行い、2日目に実演を行います。

6. サイエンスショーについて

「名古屋市科学館スペシャルワークショップ※」 名古屋市科学館

巨大なネオジム磁石を使ったサイエンスショーを行う予定です。11:10、14:10 いずれの回も同内容です。なお 16:10 からの回では会場館スタッフが「液体窒素」をテーマにサイエンスショーを来館者向けに実施します。ご都合のつく方は、ぜひご見学ください。（※名称はワークショップですが一般的なサイエンスショーです。）

以上

参加者名簿

No	館名	参加者	
		氏名	役職・補職
1	浜松科学館みらい〜ら	天井 涼	サイエンスチーム
2	富士川楽座 体験館どんぶら	山田 恭輔	科学館スタッフ
		菅原 未夕	科学館スタッフ
3	静岡科学館る・く・る	藪崎 清香	企画担当（主任）
		関野 葉水	企画担当（契約職員）
4	豊橋市視聴覚教育センター・ 地下資源館	上田 康博	サイエンスコミュニケーター
5	とよた科学体験館	山口 三乃	主事
6	岐阜市科学館	藤本 香生	主事
7	岐阜県先端科学技術体験センター サイエンスワールド	三浦 秀輝	館長
		スタッフのみなさん	
8	名古屋市科学館 (東海ブロック本年度幹事館)	大路 樹生	館長
		山田 厚輔	学芸員
		藤本 雅之	学芸員
		小泉 美結	展示運営補助員
		梶浦 みなみ	展示運営補助員
9	日本科学未来館（連携協事務局）	富田 知宏	調査役